

後期基本計画 令和 4年度 施策方針評価書

政 策：03 地域の産業がより活性化し、次代を見据えた挑戦を続けるまち

基本施策：01 地域の潤いにつながる観光資源の発信

施 策：01 公民連携による観光まちづくり

施策担当職・氏名	観光物産課 総括主査 佐藤 一将
-----------------	------------------

1. 施策の令和 4年度までの実現状況を明らかにする

(1) 施策の内容

	変化する諸課題に対応しつつ時代の潮流や現状、新たな価値観等の環境変化を踏まえ、地域の魅力の共有や発信を図る事業を行います。また、主要なパートナーである滝沢市観光協会の運営をサポートし、法人化に向けた支援をします。
--	------------------------------------------------------------------------------------------------------------

(2) 施策目標値の達成状況

No	この施策に関わる施策目標指標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値					目標値	進捗状況
		平成30年度	令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 4年度	進捗率(%)	
1	暮らし ここ1年で、滝沢市内で、自分の住んでいる地域以外の行事に参加したことがある人の割合 単 位 %	25.9	27	29	31	33	33	D	
	単 位	29.5	26.3	13.6	18	18	△111.3		
	単 位								
	単 位								

(3) 施策を構成する事務事業及び目標値の達成状況

No	事務事業名 事務事業目標指標	推 移	令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度
1	2924 チャグチャグ馬コ関連事業 チャグチャグ馬コ同好会滝沢支部出馬頭数 単 位 頭	目標値	45	40	40	40	40	40
		実績	37	0	0	31	-	-
2	3334 観光振興事業 観光入込客数 単 位 千人	目標値	430	430	430	430	430	430
		実績	465	126	168	212	-	-
3	3413 滝沢市観光協会補助事業 観光客入込み数 単 位 千人	目標値	430	430	430	430	430	430
		実績	465	126	168	212	-	-
4	3417 観光施設管理運営事業 岩手山登山者数 単 位 千人	目標値	14	14	14	14	14	14
		実績	12	8	8	7	-	-
5	4654 チャグチャグ馬コ馬資源確保事業 チャグチャグ馬コ同好会滝沢支部出馬頭数 単 位 頭	目標値	45	40	40	40	40	40
		実績	37	0	0	31	-	-

後期基本計画 令和 4年度 施策方針評価書

政 策 : 03 地域の産業がより活性化し、次代を見据えた挑戦を続けるまち

基本施策 : 01 地域の潤いにつながる観光資源の発信

施 策 : 01 公民連携による観光まちづくり

施策担当職・氏名 観光物産課 総括主査 佐藤 一将

2. 施策の実現に向けての令和 4年度までの取り組み状況を分析する

(1) 施策目標の達成（実現）に向けた基本計画期間内の取り組みと方針についての達成（実現）状況

B	概ね達成した
<p>市内外に対する定期的な情報発信については、一般社団法人滝沢市観光物産協会と連携しホームページ、SNS等を活用した情報発信を定期的に行いました。観光物産振興における主要なパートナーである滝沢市観光協会について、一般社団法人への移行を支援しました。</p>	

(2) 基本計画内の取り組みと方針のうち、令和 4年度の重点課題の達成（実現）状況

A	達成した
<p>「地域の潤いにつながる観光資源の発信」については、観光物産振興における主要なパートナーである滝沢市観光協会の法人化を支援し「一般社団法人滝沢市観光物産協会」が設立され、市と連携しビッググループ滝沢を活用し観光物産関係の情報発信に努めました。</p>	

3. 施策の実現に向けての令和 4年度実施後での変化を認識する

(1) 施策の実現に影響する社会環境変化

B	社会環境変化あり
<p>令和元年度末から国内で拡大した新型コロナウイルス感染症の観光産業へ影を落としたが、感染症法上の分類が2類から5類へ変更されたことなどにより、コロナ禍以前の状況までには回復していないものの、インバウンド誘客を含め観光需要は回復基調が続いています。</p>	

(2) 基本施策との関連性から施策の見直し

A	必要なし

4. 施策の実現に向けての今後の取り組みと方向性を明らかにする

(1) 令和 6年度方針策定に際し、今後の方向性や引継課題

B	課題あり
<p>【今後の方向性】 自然資源や伝統文化を活かした観光振興に継続して取り組むほか、社会環境の変化により観光・物産への需要の回復基調は継続や、コロナ禍以前よりインバウンド誘客が活性化することが予想されることから、情報発信の方法やイベントの実施方法などを検討する必要があります。</p> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 観光分野の分野別計画を策定する必要があります。 チャグチャグ馬コの保存伝承の仕組みを構築する必要があります。 岩手山、鞍掛山と自然情報センター、キャンプ場の一体的な活用についての検討が必要です。 	

